



ヤマトグループは、「社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、より便利で快適な生活関連サービスの創造、革新的な物流システムの開発を通じて、豊かな社会の実現に貢献します」を経営理念として、成長性・健全性・効率性の3つのバランスを取りながら持続的な成長を実現し、企業価値の最大化を目指しています。

2012年3月期の振り返り

2012年3月期は、欧州債務危機による海外経済の減速、円高の進行などから日本経済全体が停滞の様相を見せたものの、2011年3月に発生した東日本大震災からの復興需要の高まりなどから景況感は徐々に回復へと転じました。

このような経営環境の中で、中期経営計画「DAN・TOTSU3か年計画HOP」の1年目を迎えたヤマトグループの2012年3月期は、コンプライアンスを重視した荷受の厳格化によるクロネコメール便取扱数量の減少などにより、会社計画を上回る営業利益を達成することはできませんでしたが、日々高度化するお客様のニーズに適應すべく新事業の展開を推進したことに加え、通販市場も拡大し、宅急便取扱数量の好調な推移が業績を大きく下支えしました。

海外市場においては、すでに事業を開始している上海・シンガポール・香港に加え、2011年9月より、マレーシアにおける宅急便事業を開始しました。

また、社会的使命を果たすべく、東日本大震災の被災地の生活・産業基盤の復興と再生支援を目的とした「宅急便1個につき10円の寄付」を1年間継続するなど、被災地における復興支援を積極的に推進しました。

その結果、2012年3月期の営業収益は、前期比2.0%増加の1兆2,608億33百万円、営業利益では、前期比3.6%増加の666億51百万円となり、過去最高益に迫る増収増益を達成することができました。

	単位:百万円				前期比	
	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	増減	伸率(%)
営業収益						
デリバリー事業	¥ 997,898	¥ 966,480	¥ 995,651	¥1,014,564	¥ 18,913	1.9
ノンデリバリー事業	254,024	234,354	240,869	246,269	5,400	2.2
合計	1,251,922	1,200,834	1,236,520	1,260,833	24,313	2.0
営業利益	55,721	61,389	64,314	66,651	2,337	3.6
(利益率)	4.5%	5.1%	5.2%	5.3%	-	-
当期純利益	25,523	32,282	33,208	19,787	(13,421)	(40.4)
(利益率)	2.0%	2.7%	2.7%	1.6%	-	-

2013年3月期を迎えて

さて、中期経営計画「DAN-TOTSU3か年計画HOP」の2年目となる2013年3月期は、過去最高益を上回る700億円の営業利益を目指します。

事業環境は常時変化していますが、私どもの経営戦略に揺るぎはありません。

2005年に純粋持株会社体制に移行して以来、当社が採用している戦略は、グループの事業資産をフルに活用することで商的流通改革を起こし、豊かな社会の実現に貢献することです。

高い利益率を誇るe-ビジネス事業、フィナンシャル事業などのノンデリバリー事業群をそれぞれの事業領域で成長させつつ、デリバリー事業に新たな価値を付加することで、物的流通を今まで以上に喚起していきます。

原油価格の上昇や社会保険料率改定による人件費コストの増加などは、一時的に当社の利益レベルを押し下げる要素となりますが、ヤマトグループには、全国に張り巡らせたエンドユーザーまでの「ラストワンマイルネットワーク」があります。

ロジスティクス企業として、日々高度化するお客様のニーズに適應すべく、新サービスおよび新事業の展開を推進し、世の中に新しい価値を提供し続け、新しい時代の流れを創り出してまいります。

お客様から選ばれ、信頼されるロジスティクスパートナーであり続けるべく、成長を見据えた経営をこれからも続けていく所存です。

株主、投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年9月

代表取締役会長

瀬戸 薫

代表取締役社長
社長執行役員

木川 眞